



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

茨城県支部

日赤茨城

2020.8

特別号

Red Cross Ibaraki

事業
報告

新型コロナウイルス感染症に対して
赤十字職員は一丸となり活動しています。



クルーズ船への救護班派遣

日本赤十字社は、クルーズ船への救護班の派遣をはじめ、赤十字病院での感染者の治療にあたっているほか、感染症拡大防止のための情報発信に努めています。

日本赤十字社は、皆さまから寄せられる活動資金（寄付）を財源に、救うことを続けています。



対応にあたる日本赤十字社の医療スタッフ

日本赤十字社
新型コロナウイルス特設サイト



活動の詳細は、
ホームページで紹介

ハートちゃん

発行元

日本赤十字社 茨城県支部

〒310-0914 茨城県水戸市小吹町 2551

TEL.029-241-4516 FAX.029-241-4714



あなたの、手となり、
ぬくもりとなり。

その手は、あなたの手だ。

そのまなざしは、あなたのまなざしだ。

そのぬくもりは、あなたのぬくもりだ。

支援してくださるあなたの、手となり、目となり、ぬくもりとなり、
私たちは、そこに行く。

医師が、看護師が、ボランティアが、そこで活動する。

私たちは、あなたの支援で動いている。

そう。支援してくださる、あなたも赤十字の仲間です。

寄付するあなたも赤十字です

<http://www.jrc.or.jp/>

赤十字 寄付



救いを託されている。

活動資金へのご協力を、よろしくお願いいたします。 赤十字運動月間 5.1(Fri)~31(Sun)



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社 茨城県支部

〒310-0914 水戸市小吹町2551 TEL 029-241-4516

協賛委員用

- (※) 活動資金を募集するために各世帯などを回られる方を、「協賛委員」と呼ばせていただきます。
- (※) 活動資金に協力(寄付)される方を、「協力者」と呼ばせていただきます。

令和2年度

赤十字活動資金募集の手引き

～赤十字へのご支援をお願い申し上げます～

赤十字の活動に日頃からご協力いただき、感謝申し上げます。

日本赤十字社は、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命を果たすべく、災害救護、救急法等の講習、ボランティアの養成、青少年赤十字の活動、国際支援活動を展開しています。

日本赤十字社茨城県支部では、昨年発生した台風第15号・第19号による災害現場に医療チームや日赤ボランティアなどを派遣し、被災者に寄り添った救護活動を展開してまいりました。

これらの事業を行うにあたり財源の基盤となるのが、赤十字の趣旨に賛同された方々からお寄せいただく活動資金でございます。

当支部では、令和2年度も5月の「赤十字運動月間」にあわせて活動資金へのご協力をお願いさせていただきます。

本運動の実施にあたりまして、活動資金の募集にご協力いただく自治会や奉仕団員等の協賛委員の皆さまには、例年、ご尽力をいただいているところですが、引き続き、いのちと健康を守る活動を実施するため、趣旨をご理解いただき、お力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和2年4月

日本赤十字社茨城県支部

伸びよう 伸ばそう 青少年

三つの基本姿勢

- (1)子どもや青少年をしっかり見つめる
- (2)大人が変われば子どもも変わる
- (3)さんかけ運動を推進する

(1)子どもや青少年をしっかり見つめる

市内の子どもや青少年の実態を把握して、私たち大人がやるべきことを見極め活動することが大切です。



入学期・11月の教育月間に合わせて、学校と合同であいさつ運動を実施。令和元年度は計8校で実施。

青少年育成稲敷市民会議の主な事業

(2)大人が変われば子どもも変わる

「子どもは、社会を映す鏡」。そんな考えに立ってみると、私たち大人が、まず、しなければならないことがあります。

それは、親や大人が自らの姿勢を正し、子どもの手本になるとともに、社会全体のモラルや地域の教育力を高めていくことではないでしょうか。身近なところから、できることから始めましょう。

(3)さんかけ運動を推進する

「さんかけ運動」は『青少年 気にかけて 目をかけ 声かけよう』のキャッチフレーズで、子どもや青少年をいつも多くの大人が気にかけていて、また、みんなが目を向けていて、必要なら一声かけようという運動です。

いつも気にかけてたり、目をかけることによって子どもや青少年の実態を知るだけでなく、大人との絆づくりを期待しようというものです。



『のぼり旗』の作成
推進のぼり旗を作成し、市内のこども園
幼稚園・小中学校・公民館などへ掲げ、
運動を展開